

安川電機

個人投資家様向け会社説明会

注意事項

- 本資料は当社の理解促進を目的とした内容で構成されています。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

2026年2月

株式会社 安川電機 (証券コード：6506)

- ・ モータを回し続けて100年
- ・ 産業や社会を支えるシステムづくりのお手伝い
- ・ グローバルな競争力を持つ3つの製品
産業用ロボット/ACサーボモータ/インバータ



産業用ロボット
MOTOMANシリーズ



ACサーボモータ
Σ-Xシリーズ



安川インバータ
新シリーズ

自動車年間生産台数

9,000万



スマートフォン年間生産台数

12億

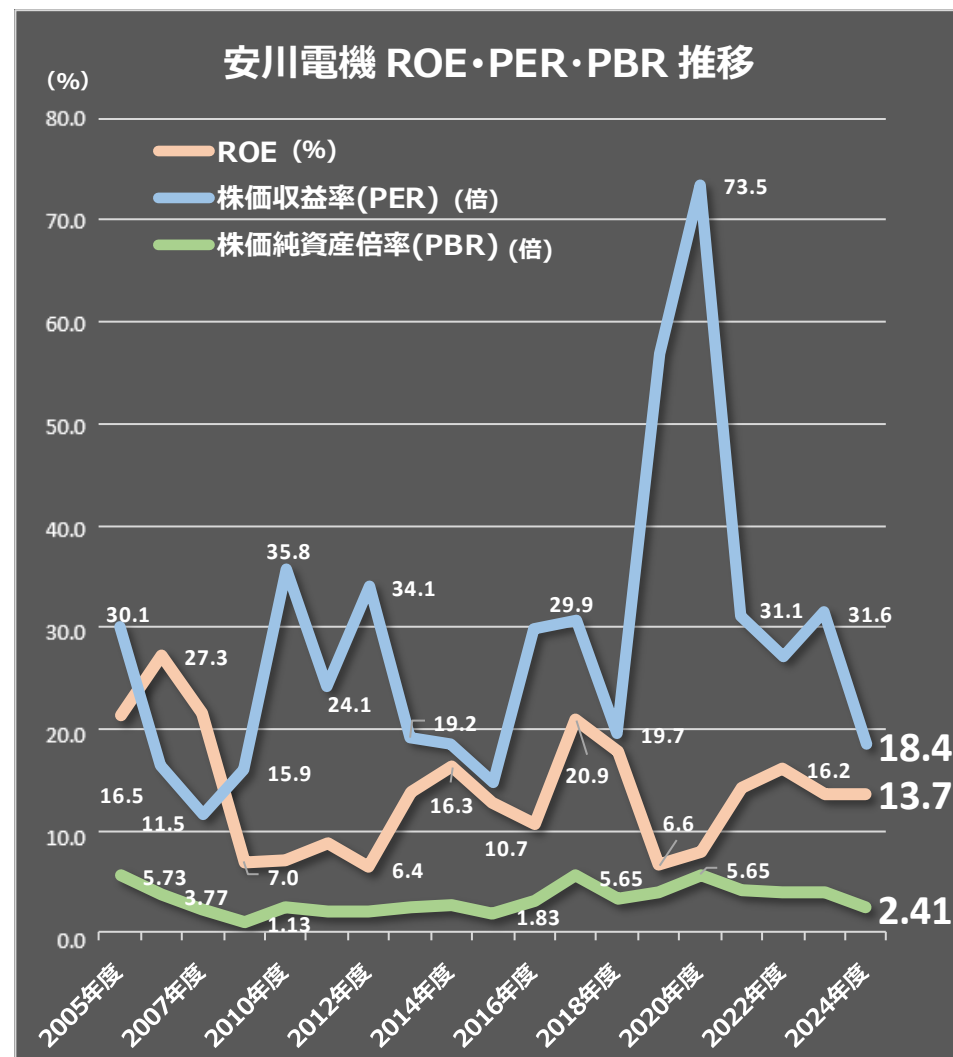
中食生産量（A社1日）

500万



株価推移、資本効率性、バリュエーション(PER・PBR) 推移

- ・ 当社株価は17年に急伸後24年度に調整するも、足元で業績回復と自律ロボットへの期待感で上昇
- ・ ROEは基本的に10%を超過。PER,PBRは過熱気味な20年頃から落ち着き18.4倍,2.41倍



YASKAWA

会社概要

プロフィール

(2025年2月28日現在)

*2024年3月1日から2025年2月28日までの連結会計年度

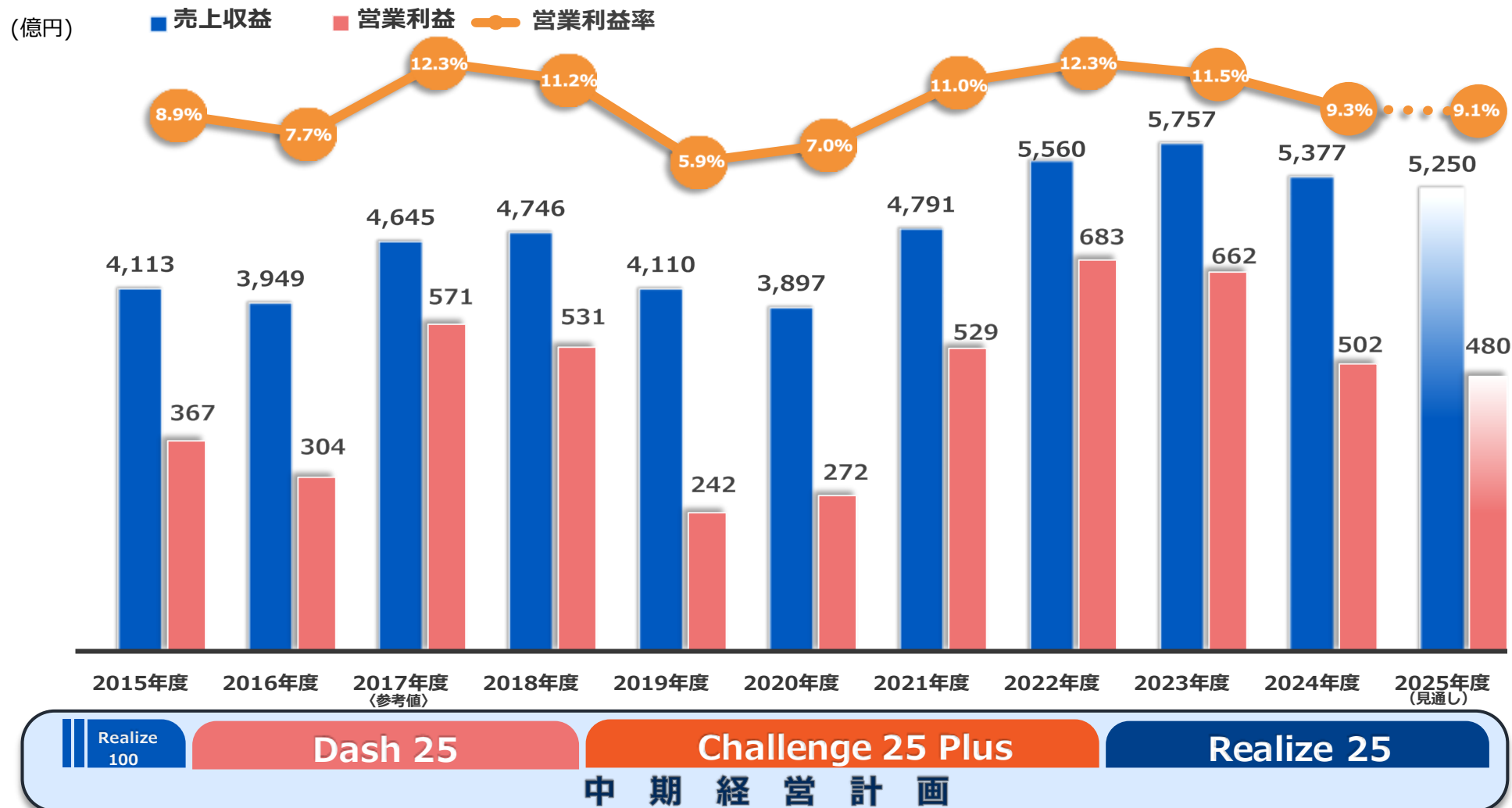
商 号	株式会社安川電機 YASKAWA Electric Corporation
創 立	1915年（大正4年）7月16日
本社所在地	福岡県北九州市八幡西区 黒崎城石2番1号
資 本 金	306億円
従業員数	連結 12,833名

売上収益	連結 5,377億円（2024年度*）
主な事業	●モーションコントロール （ACサーボ・インバータ） ●ロボット ●システムエンジニアリング



業績の推移（2015年度～2025年度見通し）

・ 営業利益を最重要KGIと設定し、中期経営計画を3～4年ごとに策定



[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載しています

[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

グローバルネットワーク

ビジネス拠点: 約30カ国
生産拠点: 12カ国28拠点



YASKAWA
NORDIC AB
スウェーデン



YASKAWA EUROPE
ROBOTICS D.O.O.
スロベニア



安川電機(瀋陽)有限公司
中国

YASKAWA ELECTRIC
KOREA CORPORATION
韓国



YASKAWA AMERICA, INC.
Drives & Motion Division
アメリカ



YASKAWA Canada INC.
カナダ

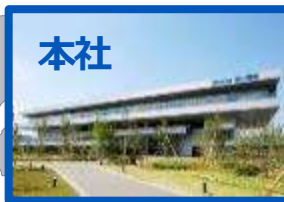
SOLETRIA
RENEWABLES, LLC
アメリカ



YASKAWA AMERICA, INC.
Motoman Robotics Division
アメリカ

YASKAWA Mexico S.A. DE C.V.
メキシコ

YASKAWA ELECTRIC DO BRASIL LTDA.
MOTOMAN ROBOTICA DO BRASIL, LTDA
ブラジル



本社

安川電機
日本

安川(常州)机电一体化系统有限公司
中国



安川(中国) 机器人有限公司
中国

YASKAWA ELECTRIC TAIWAN
CORPORATION
台湾

安川電機(中国)
有限公司
中国

上海安川電動機器有限公司
中国

YASKAWA ASIA
PACIFIC PTE.LTD.
シンガポール

YASKAWA INDIA
PRIVATE LIMITED
Drives Division
インド

YASKAWA INDIA PRIVATE
LIMITED Robotics Division
インド

YASKAWA EUROPE GmbH
Robotics Division
ドイツ

YASKAWA EUROPE
TECHNOLOGY,LTD.
イスラエル

YASKAWA TURKEY
ELEKTRIK TICARET
LTD.STI.
トルコ

YASKAWA SLOVENIJA D.O.O.
YASKAWA RISTRO D.O.O.
スロベニア

YASKAWA SHOUANG
ROBOT CO., LTD.
中国

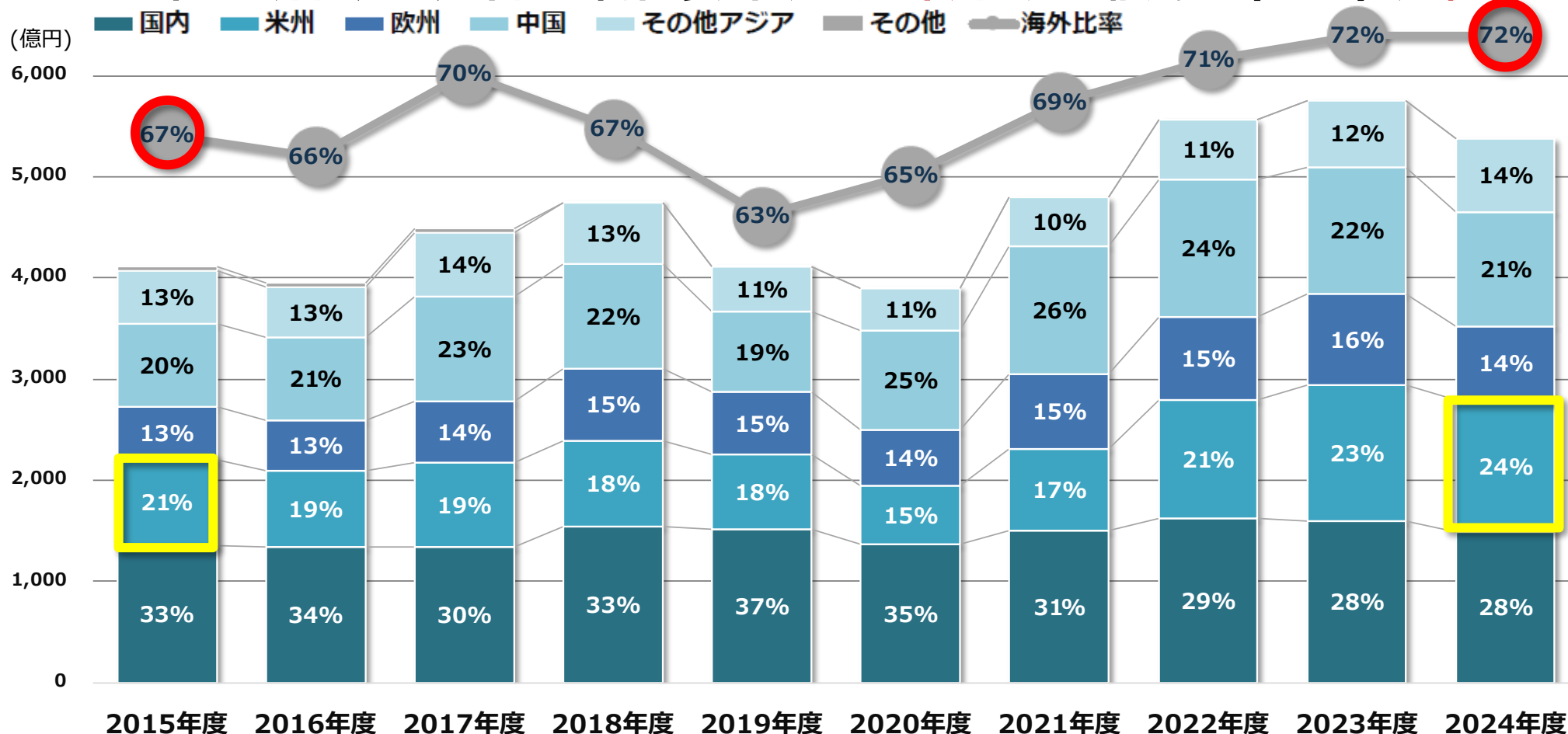


YASKAWA EUROPE
GmbH
Drives & Motion
Division
ドイツ

YASKAWA SOUTHERN
AFRICA (PTY) LTD.
南アフリカ

地域別 売上収益推移(2015年度~2024年度)

- ・ 海外の需要拡大を的確に捉え、**海外売上高比率は7割を超える**(10年間で+5pt)
- ・ 22年まで好調だった中国に代わり、直近では**米州の売上構成比(24%)が最大に**



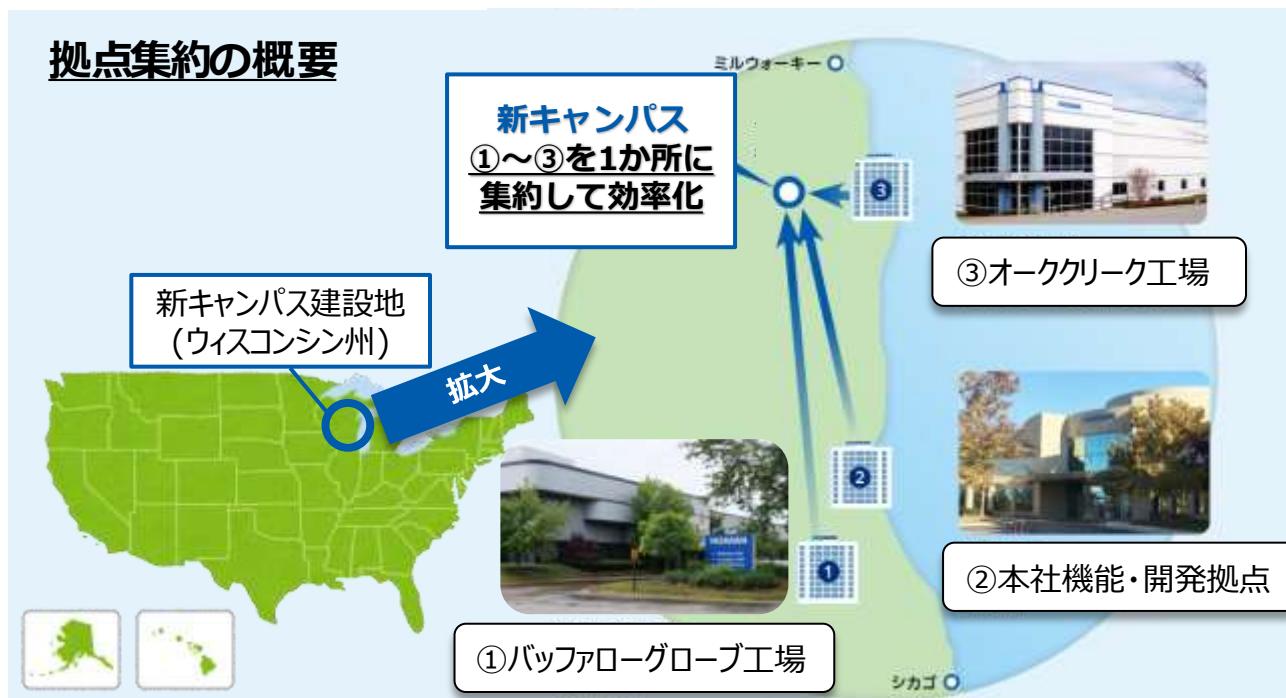
※当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。また、比較分析を行うため前年度の数値もIFRSに準拠して開示しております。
 ※当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しました。決算期変更の経過期間となる2017年度は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなっております。
 ※2022年度より地域別の情報(売上収益)の算出根拠を、従来の仕向け地(お客さまの所在地)別から安川グループ各社の所在地別に変更しています。

地域別 売上収益推移(2015年度~2024年度)

- 海外の需要拡大を的確に捉え、**海外売上高比率は7割を超える(10年間で+5pt)**
- 22年度より、**海外売上高比率(24%)が最大に**

- 今後5-10年の間に総額300億円をかけ、**米国拠点を強化**
- 本社、研究開発拠点、各製品の工場を1か所にまとめた**新キャンパスを設立**
- 生産力の強化はもちろん、生産体制の効率化、市場ニーズへの対応力強化、経営の意思決定の迅速化を図る**

拠点集約の概要



72%

72%

12%

22%

16%

23%

28%

14%

21%

14%

24%

28%

2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

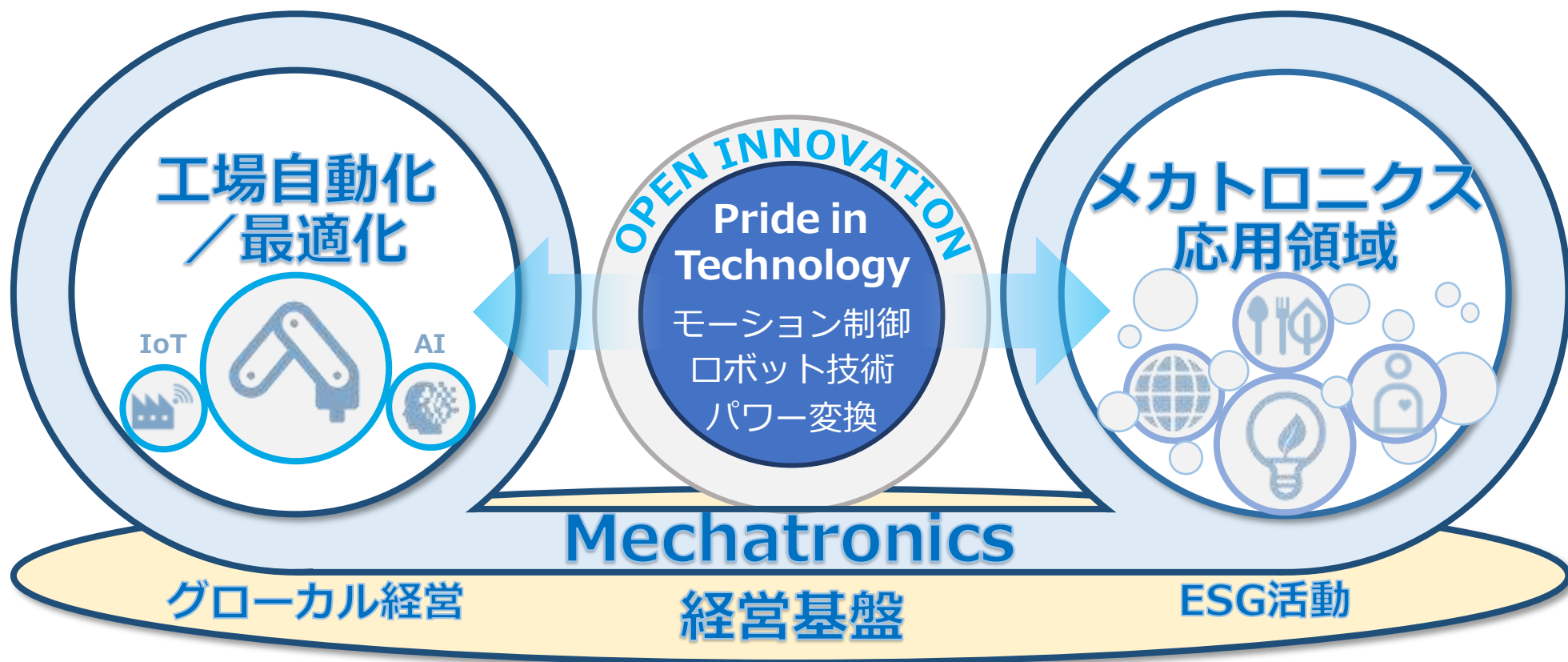
※当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。また、比較分析を行うため前年度の数値もIFRSに準拠して開示しております。
 ※当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しました。決算期変更の経過期間となる2017年度は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなっております。
 ※2022年度より地域別の情報（売上収益）の算出根拠を、従来の仕向地（お客さまの所在地）別から安川グループ各社の所在地別に変更しています。

安川グループの2025年ビジョン

コア事業の進化により、お客さまの経営課題の解決に寄与するとともに、メカトロニクス技術を応用した新規分野の拡大により、社会に新たな付加価値を生み出す

i³-Mechatronics[※]を軸とした
工場の自動化／最適化事業

社会の持続的な発展に向けた
新たなメカトロニクス応用領域



※ 新たな産業自動化革命の実現に対する安川のソリューションコンセプト

事業概要と当社のポジション

事業セグメント別売上高構成比

システムエンジニアリング

売上収益 384 (億円)

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電気システム
- ・上下水道用電気計装システム

* 2024年度から太陽光発電用パワーコンディショナなどを含めた「環境エネルギー事業」は(株)安川電機のインバータ事業と統合



鉄鋼プラント用
電気システム



上下水道用電気
計装システム

ロボット

売上収益 2,374 (億円)



【主要製品】

- ・産業用ロボット
- アーク・スポット溶接・塗装用途向け
- ハンドリング用途向け
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオメディカル用途向けロボット
- ・人協働ロボット
- ・自律ロボット

人協働ロボット
MOTOMAN-
HC30PL

7軸アーク
溶接ロボット
MOTOMAN-
AR1440E

など

その他

売上収益 232 (億円)

【主要製品】

- ・物流サービス
- など

モーションコントロール

売上収益 2,388 (億円)

➤ ACサーボ・ コントローラ事業(48%)



YRMコントローラ

ACサーボモータ
Σ-X シリーズ

【主な市場】

- ・半導体・液晶製造装置・電子部品実装機
- ・工作機械、射出成形機、金属加工機 など

➤ インバータ事業 (52%)



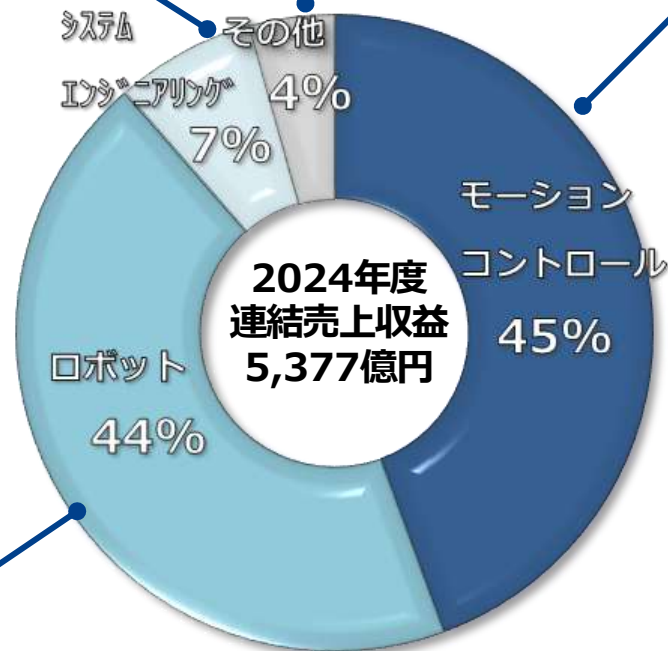
安川インバータ
GA700シリーズ

太陽光発電用
パワーコンディショナ
Enewell-SOL P3A 25kW

エコPMモータ

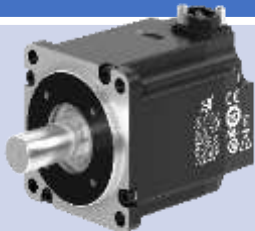
【主な市場】

- ・エレベーター、エスカレーター
- ・産業用空調・繊維機械、荷役クレーン など

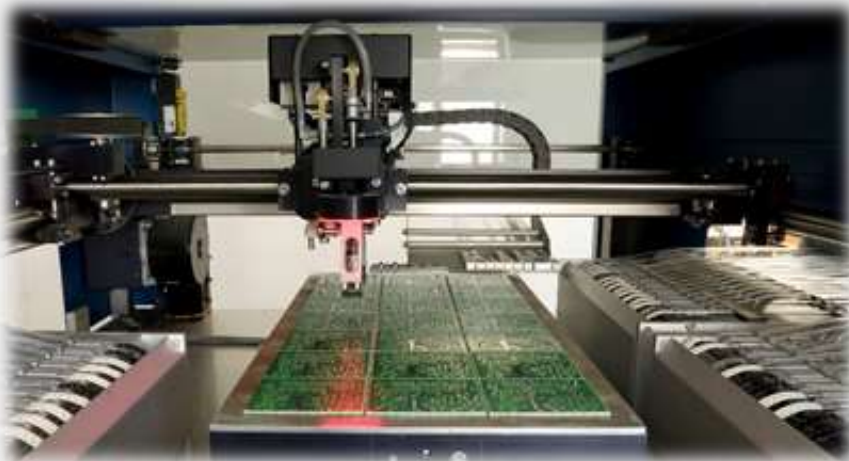


モーションコントロール事業

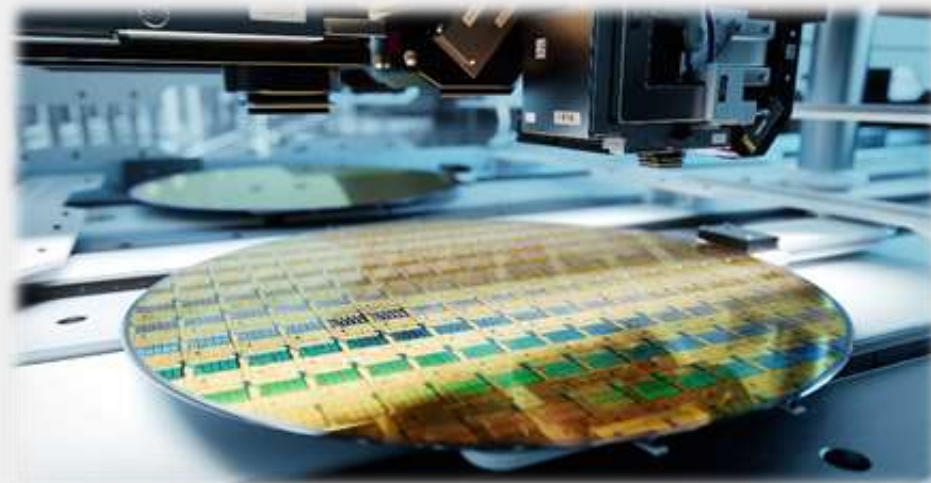
- ・ モーションコントロール製品は『ACサーボモータ』と『インバータ』に大別
- ・ 主な違いは、制御する**対象と種類**

	ACサーボモータ	インバータ
制御するもの	モータで動く機械の 位置・速度 	モータの回転 速度 
得意なこと	・指定された位置、速度に 忠実かつ着実に移動 させる	・回転速度を自在に変化させることで、 滑らかで安定した動き を実現 ・回転数を調整することで 無駄な消費電力を 抑え省エネに貢献
使用範囲	狭い ：高速・高精度が要求される分野	広い ：生活関連、産業機器など
使用用途	 工作機械  半導体製造装置  産業用ロボット	 エレベーター  空調ファン  コンベヤ

ACサーボモータが活用されているアプリケーション事例

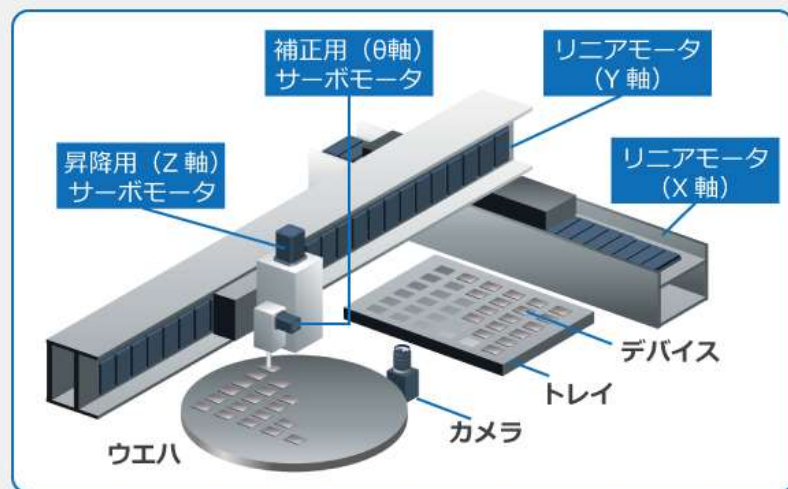


電子部品



半導体製造装置

ダイボンド装置の構造



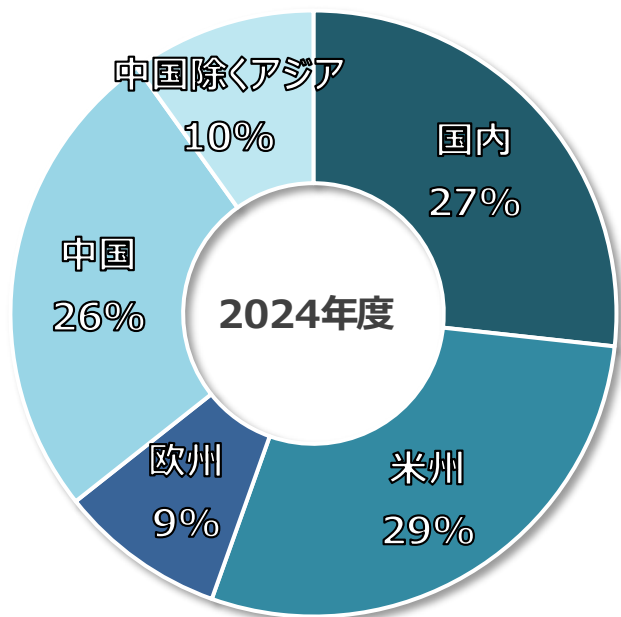
射出成形機



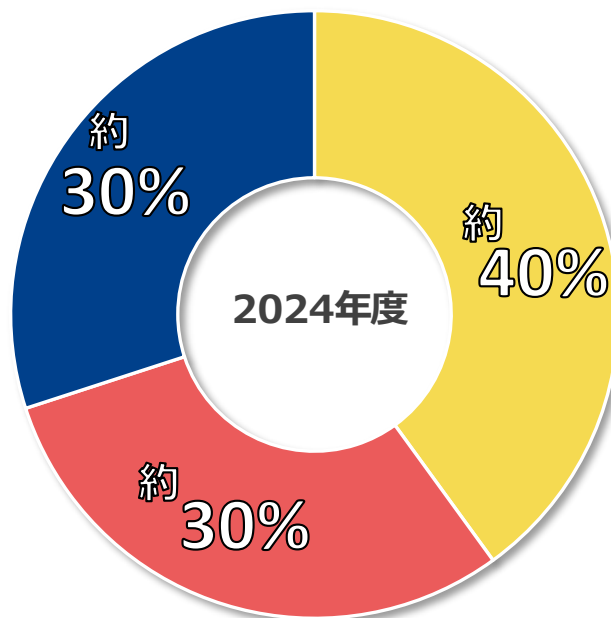
金属加工機械

ACサーボモータ 構成比・市場シェア

地域別 売上収益 構成比

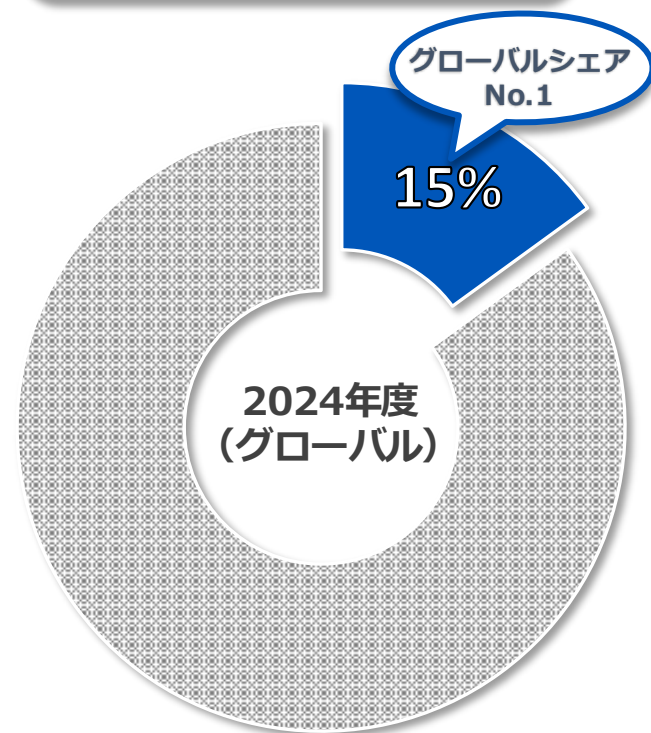


アプリケーション構成比



- エレクトロニクス関連（半導体・液晶・電子部品など）
- 機械関連（工作機械・金属加工・プレス・ロボットなど）
- その他（包装・繊維・射出成形など）

市場シェア

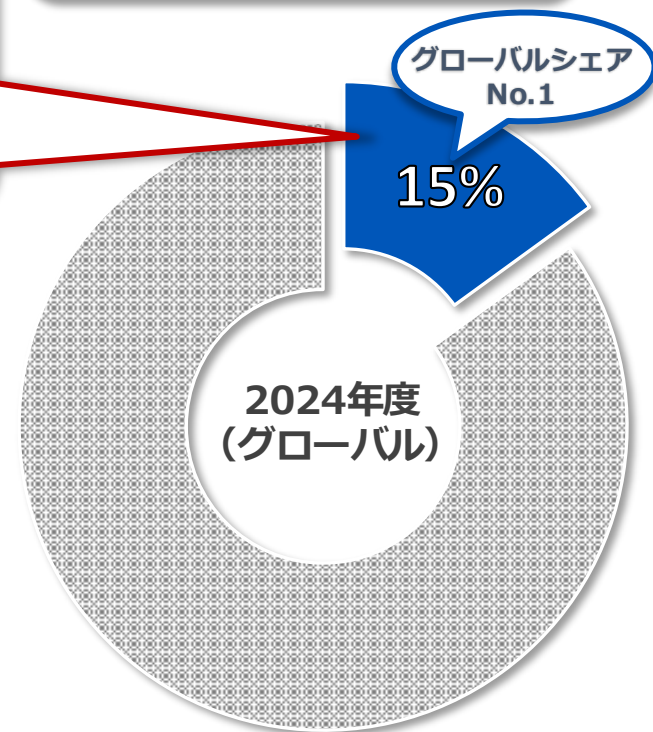
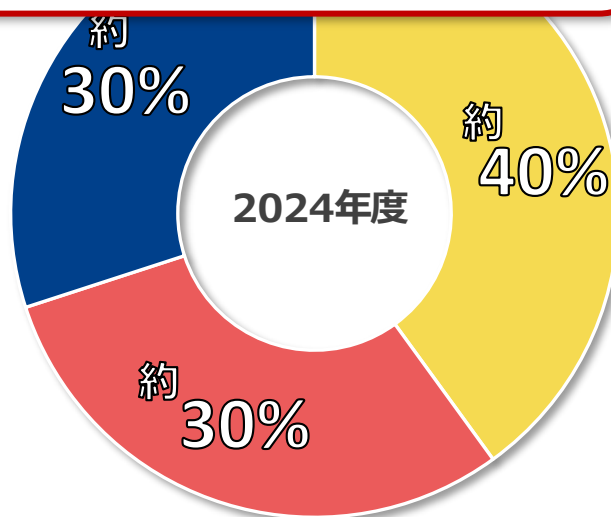
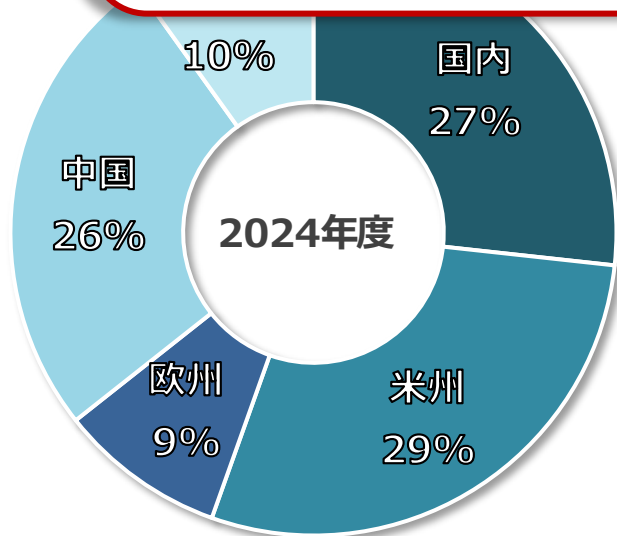


[注] 当社推定

ACサーボモータ 構成比・市場シェア

- ・ 中国におけるシェアは**25%弱**
- ・ 自動化のすそ野の広がりでローエンド領域が拡大しており、中国ローカルメーカーがシェアを伸ばしているが、**安川電機のシェアを奪っているわけではない**
- ・ 採算性の取れないローエンド領域ではなく、**ハイエンド領域でお客様の生産課題の解決に貢献し、収益性を確保する戦略**

市場シェア

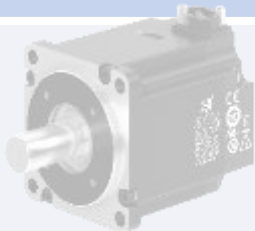


[注] 当社推定

- エレクトロニクス関連（半導体・液晶・電子部品など）
- 機械関連（工作機械・金属加工・プレス・ロボットなど）
- その他（包装・繊維・射出成形など）

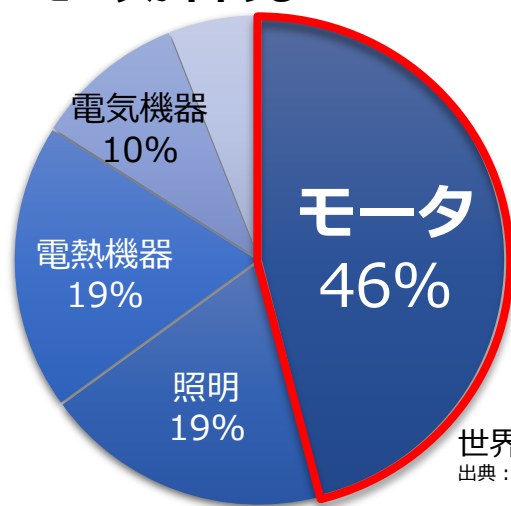
モーションコントロール事業

- ・ モーションコントロール製品は『ACサーボモータ』と『インバータ』に大別
- ・ 主な違いは、制御する**対象と種類**

	ACサーボモータ	インバータ
制御するもの	モータで動く機械の 位置・速度 	モータの回転 速度 
得意なこと	・ 指定された位置、速度に 忠実かつ着実に移動 させる	・ 回転速度を自在に変化させることで、 滑らかで安定した動き を実現 ・ 回転数を調整することで 無駄な消費電力を 抑え省エネに貢献
使用範囲	狭い ： 高速・高精度が要求される分野	広い ： 生活関連、産業機器など
使用用途	 工作機械  半導体製造装置  産業用ロボット	 エレベーター  空調ファン  コンベヤ

インバータが必要となる背景

◆世界の電力消費の大半をモータが占める



世界の電力消費量
出典：MOTOR SUMMIT 2012

◆世界各国でエネルギー効率の悪いモータへの規制が強化され、ますます省エネ志向が強まる

国名 (地域)		高効率法規制導入スケジュール										
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
日本		IE1	トップランナー規制					IE3				
米国		IE3 (脚取付等)		IE3								
		IE2 (フランジ取付等)										
中国		IE2			IE3 or IE2				IE3			
欧州		IE2		IE3 or IE2+インバータ					IE3		IE4	
											IE3	
韓国		IE2		IE3								

出典：JEMA 一般社団法人日本電気工業会の海外効率化動向参照（2020年10月）

◆高効率モータを回すにはインバータが必須

モータの種類

高い ↑ 効率 ↓ 低い	IE5 Ultra Premium High Efficiency Motor	永久磁石同期モータ, 磁石アシスト型同期リラクタンスモータ	インバータ 必須
	IE4 Super Premium High Efficiency Motor	永久磁石同期モータ, 磁石アシスト型同期リラクタンスモータ	
	IE3 Premium High Efficiency Motor	永久磁石同期モータ, 同期リラクタンスモータ	
	IE2 High Efficiency Motor	誘導モータ ←	欧州では インバータ駆動必須
	IE1 Standard Motor	誘導モータ	

インバータが活用されているアプリケーション事例



クレーン



ファン



ポンプ



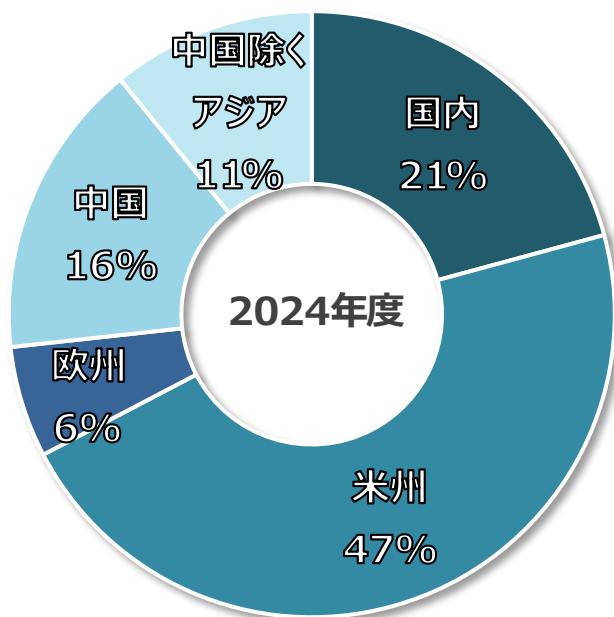
コンベヤ



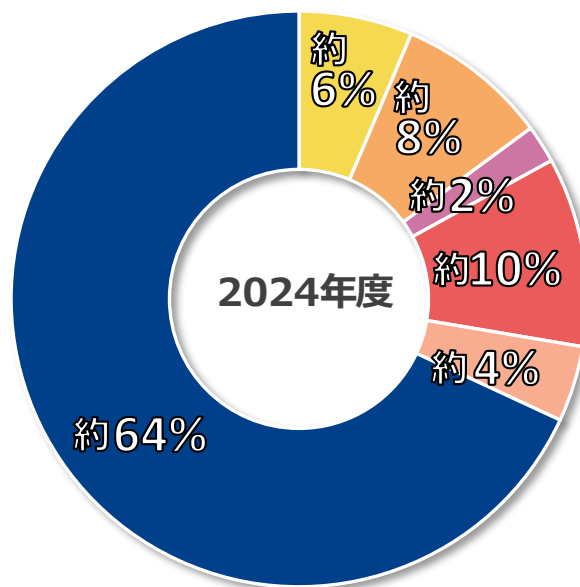
自動倉庫

インバータ 構成比・市場シェア

地域別 売上収益 構成比

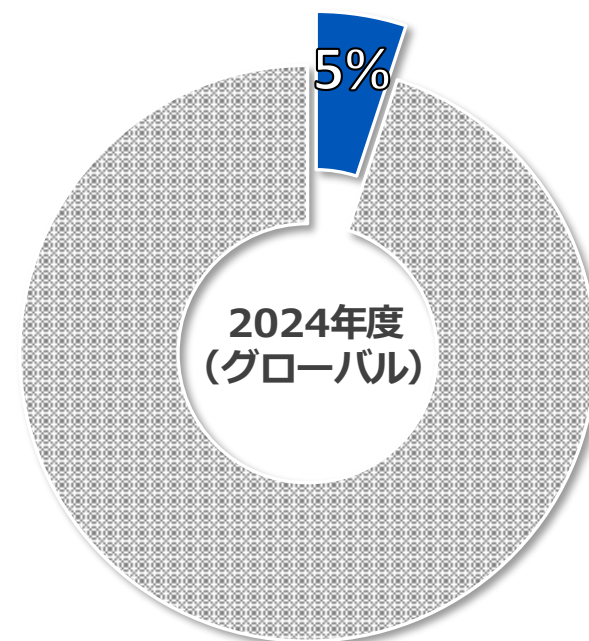


アプリケーション構成比



- ビル空調(HVAC),コンプレッサ
- クレーン,ホイスト
- ポンプ,ファン
- オイル&ガス
- エレベーター
- 一般機械・その他※

市場シェア

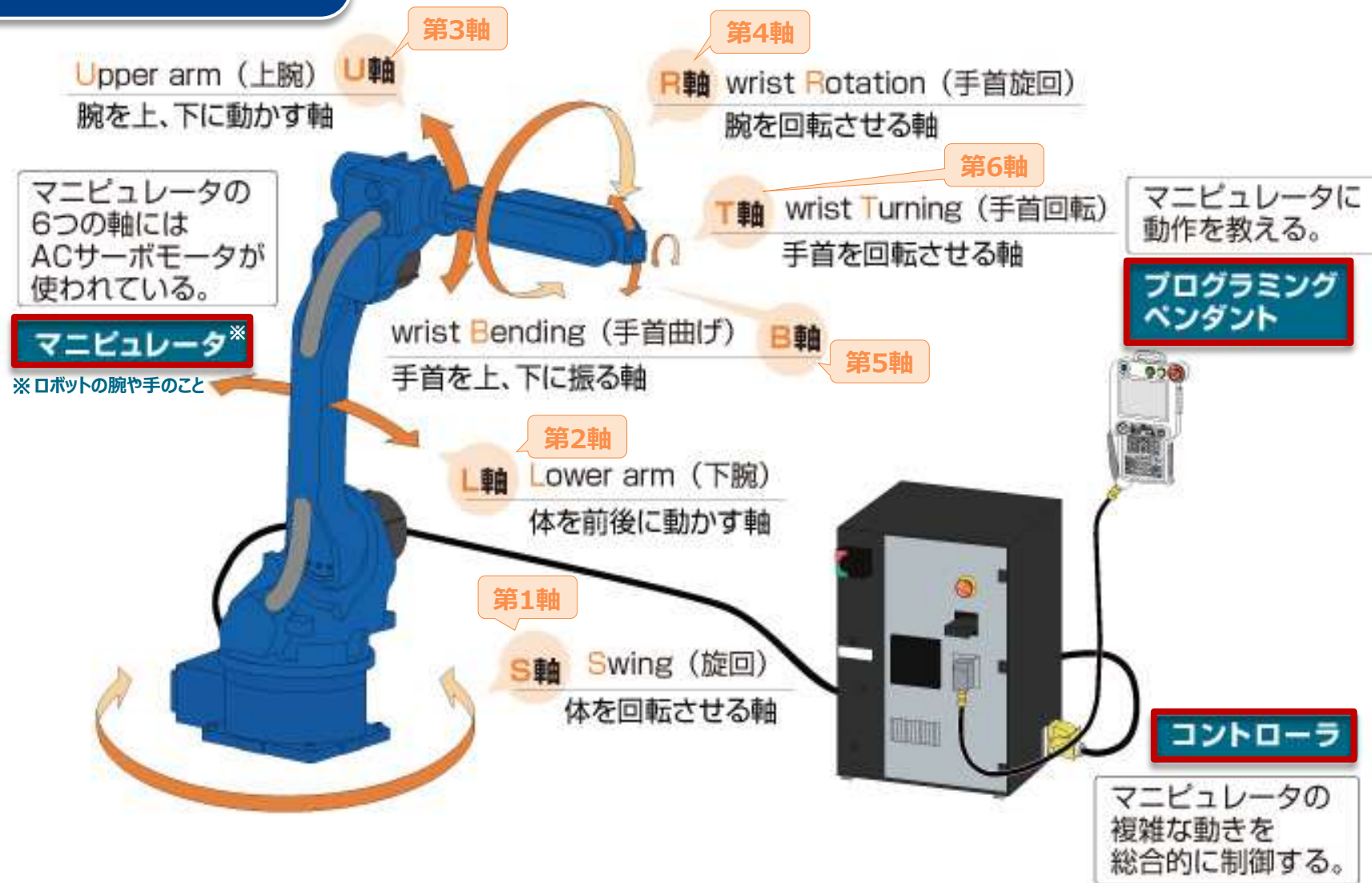


[注] 当社推定

※ 繊維機械・金属加工機・包装機械・コンベヤなど

産業用ロボット

産業用ロボットの基本構成



ロボット(MOTOMAN) ラインアップ

産業用ロボット (自動車関連及び一般産業)

アーク溶接



スポット溶接



塗装



ピッキング、パッキング、 パレタイジング



ハンドリング



クリーンロボット (半導体)

SEMISTAR-M, Vシリーズ

半導体ウェハ搬送
クリーンロボット

半導体ウェハ搬送
真空ロボット



人協働ロボット

人協働



双腕ロボット (組立・物流・バイオメディカル)

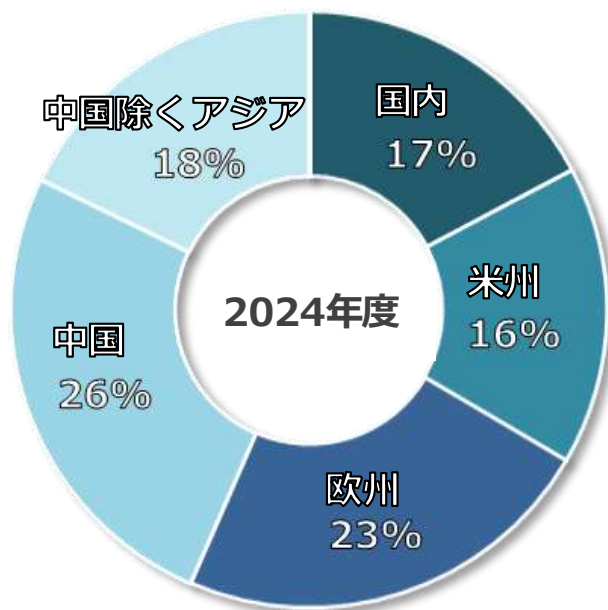
バイオメディカル

搬送・組立

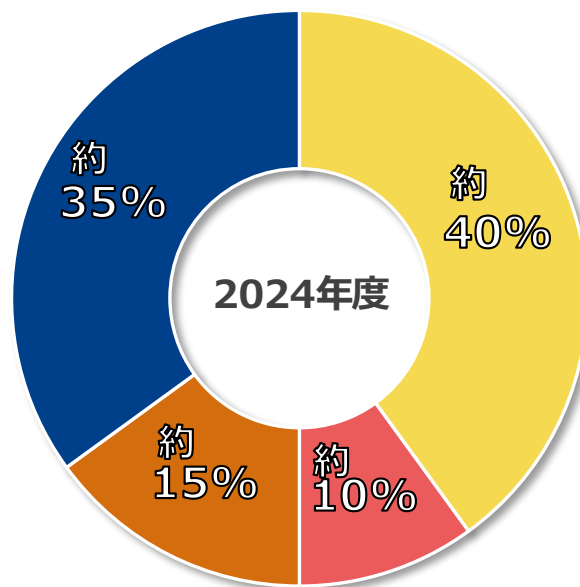


ロボット 構成比・市場シェア

地域別 売上収益 構成比

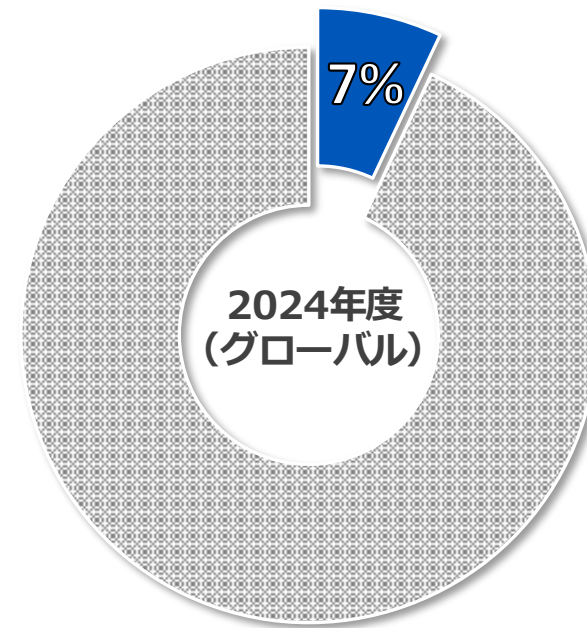


アプリケーション構成比



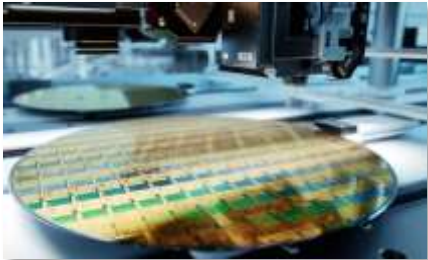
- 自動車関連 (アーク溶接・スポット溶接・塗装など)
- 半導体・液晶関連
- カスタマーサービス
- 一般・その他 (3c・ハンドリングなど)

市場シェア



[注] 当社推定

各事業ごとの注力市場、取組み

	ACサーボ・ コントローラ事業	インバータ事業	ロボット事業
取組み	半導体市場にてAI用ICチップをはじめとする3次元実装技術の量産需要への対応 	グローバル展開が進むデータセンタの冷却（空冷・液冷）装置における省エネニーズに対応 	医薬業界での自動化推進に向け合併会社を設立 
	ACサーボモータとロボットを統合制御する新たなコントローラによって生産ラインにおけるデータ収集・活用を加速し、お客さまの抱える課題解決に貢献  YRMコントローラ「YRM1030」	IRA法による税額控除や米国国内生産で太陽光パワコン市場におけるプレゼンスを確立。セキュリティ安全性の確保と、新素材(ペロブスカイト)への対応を加速 	パートナー連携によるMOTOMAN NEXTの活用市場の開拓  - 過渡期である自動車市場にてニーズの変化に柔軟に対応 

AIを活用した自動化領域の拡大



業界初 自律性を備えた次世代ロボット

MOTOMAN NEXT

特長

① 自律制御ユニット

コントローラー内のグラフィック処理装置とAIで
センサーから得られた周囲の情報を認識し、
分析することで**動作計画を自動で作成**

② 自社開発した最適モータ

動作計画を正確に再現するため
自社開発した最適モータを採用



新たな自動化ニーズへの貢献 ～MOTOMAN NEXT活用の具体例～

人手に依存していた作業の自動化



これまで人間のカンやコツが必要だった梱包作業において、双腕型のMOTOMAN NEXTは人の実演を模倣し学習することで作業をティーチングレスで自動化

新たな場面(未自動化領域)への フィジカルAIの社会実装



AI搭載人型ロボット



ビル、学校、百貨店などの自動化が進んでいない領域へフィジカルAIを社会実装することに取り組む。SoftBankのAI-RAN※を活用しオフィスビル内の事象を把握し自律的に対処するユースケースを開発

※ 無線アクセスネットワーク(RAN)にAI技術を組み込みネットワークの最適化や運用効率を向上させる技術

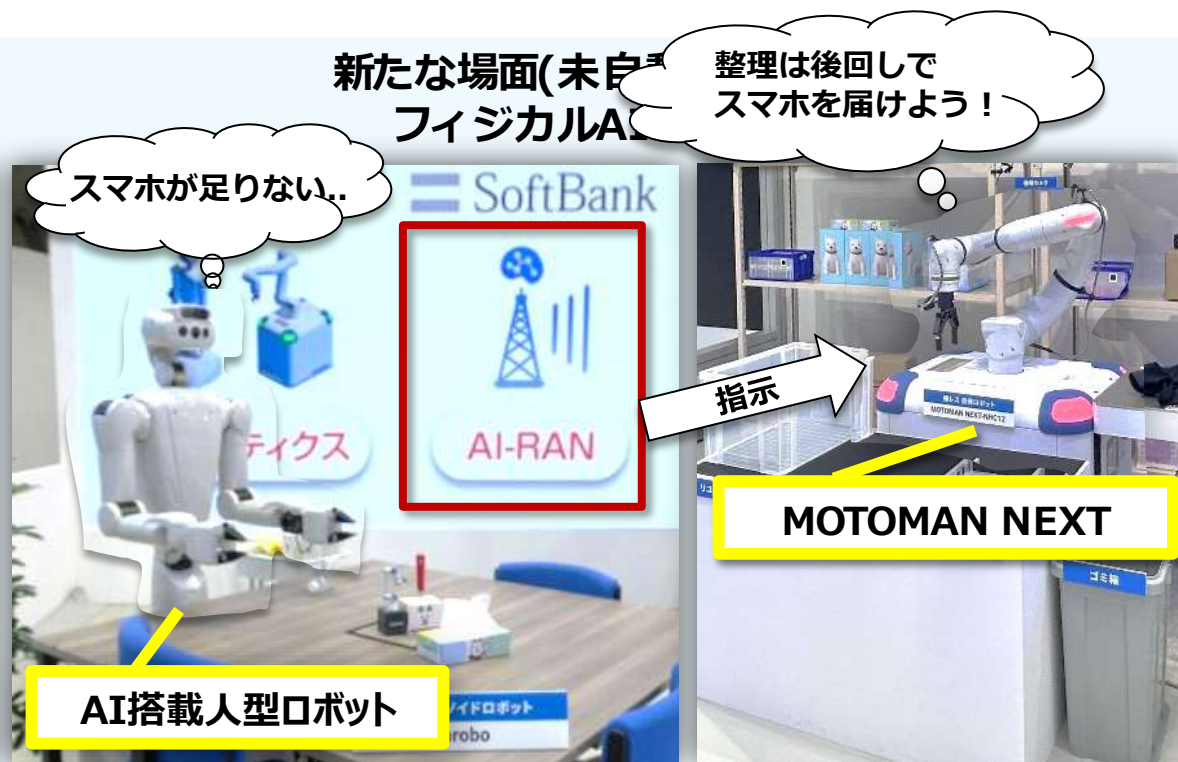
新たな自動化ニーズへの貢献 ～MOTOMAN NEXT活用の具体例～

人手に依存していた作業の自動化



これまで人間のカンやコツが必要だった梱包作業において、双腕型のMOTOMAN NEXTは人の実演を模倣し学習することで作業をティーチングレスで自動化

新たな場面(未学習)での フィジカルAI活用



AI搭載人型ロボット

ビル、学校、百貨店などの自動化が進んでいない領域へフィジカルAIを社会実装することに取り組む。SoftBankのAI-RAN※を活用しオフィスビル内の事象を把握し自律的に対処するユースケースを開発

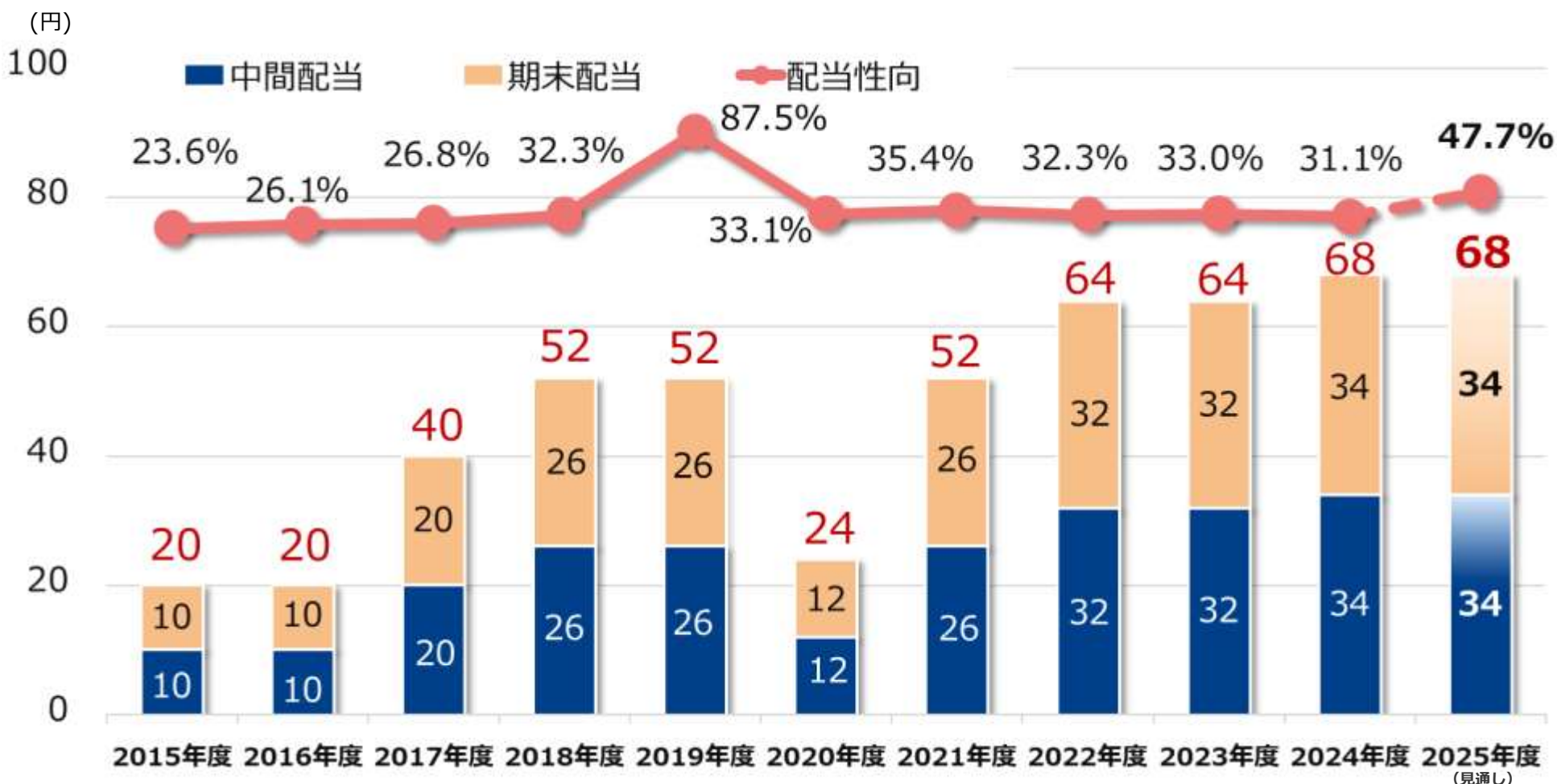
※ 無線アクセスネットワーク(RAN)にAI技術を組み込みネットワークの最適化や運用効率を向上させる技術

YASKAWA

株主還元

株主還元（配当金推移）

- ・ 営業活動により生み出したキャッシュは、
①成長投資、②株主還元、③従業員配分の三方向に効果的に投入
- ・ 株主還元は配当性向30%+αを目安に実施する方針



IRウェブサイト

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくための
さまざまな情報をご提供しています。

個人投資家様向けのサイト



YASKAWAレポート（統合報告書）



QRコード

インベスターズガイド（基礎資料）

経営戦略や製品の特徴など
当社に関する基礎情報をまとめた資料



QRコード

YASKAWA